

10代、どんな世代?

今回の参院選で初の一票を投じる10代はどのような世代なのか。目を向けてみる。

今年18歳になる人が生まれたのは1998年。電通若者研究部の奈木れい研究員は、この世代の特徴を「幼い頃から日常の中に携帯電話やパソコンがあり、交流サイト(SNS)も上手に使いこなす。多くの情報に触れ、

「理屈を伴わない『あるべき論』や『とにかくやれ』といった頭ごなしの指示が嫌い」とみる。

政治への関心はどうか。リクルート進学総研が昨年まとめた調査では、高校生の64%が「政治に関心がある」と回答した。関心が高い政治課題(複数回答)は「集団的自衛権」が最多の53%。「憲法改正」(51%)

小黒教授は「現状は若い世代から高齢世代への富の移転が進んでいる。ゆがみを是正するには若者の政治参加が欠かせない」と話す。

「将来不安」7割超 SNS使いこなす

年	年齢	出来事
1998年	0歳	・長野冬季五輪 ・Windows98発売
2001	3	・米同時テロ
02	4	・初の日朝首脳会談、拉致被害者24年ぶり帰国
03	5	・イラク戦争始まる
08	10	・リーマン・ショック
09	11	・民主党に政権交代
11	13	・東日本大震災、福島第1原発事故
12	14	・自民党が政権復帰。第2次安倍晋三内閣発足
14	16	・消費税5%→8%に
∴	∴	∴
19	21	・消費税8%→10%に?
20	22	・東京五輪・パラリンピック
35	37	・人口の3分の1が、高齢者に? ※
48	50	・日本の人口が1億人を割り込む? ※

(注) ※は国立社会保障・人口問題研究所の推計による

「消費増税」(41%)と続く。

電通総研の調査では、男子高生の72%、女子高生の80%が「日本の将来が不安」とする半面、男子の91%、女子の88%が「日本が好き」だった。

彼らが担う日本の未来は課題山積だ。国と自治体の借金は1千兆円を超え、社会保障費も増え続ける。

法政大の小黒一正教授(公共経済学)の試算では、生涯に政府から受け取る年金や医療費などの「受益」から、税金や保険料などの「負担」を差し引いた金額は60代以上が4千万円のプラス。19歳以下は逆に約8300万円マイナスだ。消費増税の先送りで、格差はさらに広がった。